

川口市立医療センター広報紙

はな みず き
花 水 木

特集

2022.9.1 Vol. **57**

当院の消化器内科の特色



川口市立医療センター
イメージキャラクター 「みみたーず」
“よく聴き・よく診て・よく説明する”

基本理念

市民に信頼され、
安全で質の高い医療を提供します

当院の消化器内科の特色

消化器とは、栄養を体に吸収するときに働く臓器で、具体的には胃・腸・肝臓・胆のうなどです。

消化器内科では幅広い消化器の病気の治療を行います。当院は総合病院として、各分野で高いスキルを持った優秀な医師が在籍しています。

胃がん、大腸がん治療のプロ

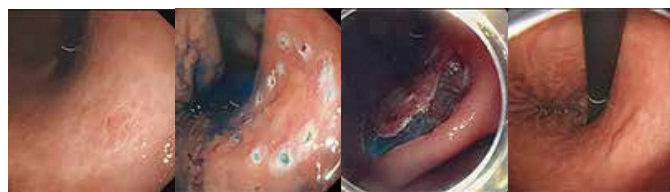
がんと言えば外科手術ですが、早期のがんであれば内視鏡（胃カメラや大腸カメラ）で治療することが可能です。

ESD（内視鏡の粘膜下層剥離術）と呼ばれる内視鏡手術で、胃や大腸の表面にあるがんを、内視鏡を使って切除していきます。

内視鏡は約1mの長さのチューブで、その先からナイフを出して、画面を見ながらナイフの向きを前後左右に動かしていきます。



永井 晋太郎 医師



病変 マーキング 切開中 術後1年経過
胃がんの内視鏡治療

一つ操作を間違えれば大出血を起こしたり、胃腸に穴を開けてしまったりする危険性があり、非常に高い技術を要する治療です。

永井医師は画面を見ながら操作をする能力に秀でており、内視鏡を手足の如く操作し、安全・迅速かつ丁寧にがんを切除していきます。

胆石治療のプロ

胆のうという袋の中に石が出来ることを、胆のう結石と言います。

その石が胆のうや胆管の出口に詰まると、胆のう炎・胆管炎を引き起こし重篤な状態になります。

胆管炎が生じた場合は、内視鏡を使って可及的速やかに石を排出します。

胆管に器具を挿入し、詰まっている石を取り除く、1mm以下の繊細な操作が要求される非常に難しい手技です。

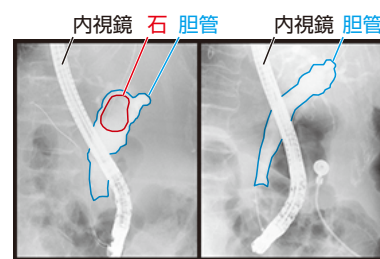
胆管に器具が入りづらい場合には、内視鏡治療を断念する場合があります。

そのような難しい治療ですが、尾上医師はどんな困難な場合でも、繊細な内視鏡操作を行い、様々な器具を駆使し、機転を利かせて治療を完遂します。

患者さんのために良い治療をしてあげたいという気持ちが誰よりも強く、その気持ちが他の医師から“名人”と言われるほどの技術の習得に繋がったのでしょう。



尾上 雅彦 医師



術前 術後
治療中のレントゲン画像

炎症性腸疾患治療のプロ

炎症性腸疾患とは原因不明の腸炎のことで、代表的なものにクローン病や潰瘍性大腸炎があり、下痢や腹痛等の症状が続きます。

薬による治療で病気を抑えるのですが、完治することはなく、生涯付き合っていかなければならない難病の一種です。

様々な内服薬や点滴薬、場合によっては手術などの治療を要します。

峯川医師は40年以上の豊富な診療経験を持ち、炎症性腸疾患に対して適切な治療を行います。



峯川 宏一 医師

腹水治療のプロ

数十年にわたってお酒を飲み過ぎると、肝臓の機能が低下して肝硬変という状態に至ります。

肝硬変の症状の一つとして、腹水貯留があります。腹水貯留とは、お腹に多量の液体がたまる状態です。

場合によっては10L近くたまることもあり、お腹が張って苦しくなったり食欲が落ちるなどの症状が出現します。

小西医師は、お酒の飲み過ぎにより肝硬変になってしまった患者さんの気持ちを誰よりも理解し、患者さんに寄り添った治療を行います。

お腹にたまった水を抜く、腹腔穿刺^{ふくくせんし}という治療を行います。3～4L程抜くと、お腹の張りは軽減されます。小西医師は、1週間に2～3回腹腔穿刺の治療を行うこともあります。



小西 啓貴 医師

健診のプロ

一般的に、病院で行う検査や治療は、症状が出現した後や病気になってしまった後に行います。

総合健診センター長でもある菊池医師は、症状が出現する前や病気になる前に検査を行い、病気の早期発見・早期治療を行います。

大腸がん検診では便潜血検査、胃がん検診では胃カメラ検査やバリウム検査を行っています。

よく、「がんの闘病生活を送る」と言いますが、実際に病気になってしまった後に、治療の面で患者さんが出来ることはあまり多くありません。

健康診断を定期的に受け、病気の早期発見・早期治療をすることが「最高の闘病」です。

当院では、一般健康診断、大腸がん検診や胃がん検診、人間ドックなどの検診を行っています。お気軽にご相談ください。



菊池 浩史 医師

イベントを実施しました

「世界禁煙デー」に合わせ、清掃活動を行いました

5月31日は、WHO(世界保健機関)の定める「世界禁煙デー」です。この日に合わせ、病院周辺の清掃活動を行いました。空き缶、ペットボトル、たばこの吸殻が目立ちますが、マスクも数多くありました。



日本では世界禁煙デーから1週間が禁煙週間と定められ、今年のテーマは「たばこの健康影響を知ろう!～若者への健康影響について～」でした。喫煙開始年齢が早いほど、肺がんによる死亡リスクやニコチン依存度が高くなることが報告されています。当院では地域のみなさまに健康な生活を送っていただくことを願い、禁煙を推進しております。



七夕に願いを込めて…ロビーが七夕飾りで彩られました

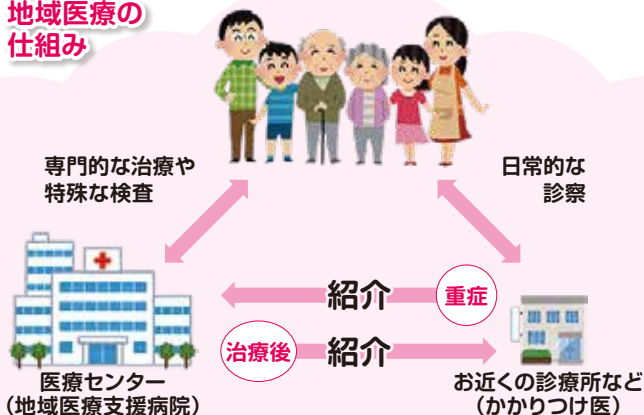
当院では七夕の時期に、1階ロビーに七夕飾りを設置しております。

去年は新型コロナウイルスの感染防止対策のため見送りましたが、今年は約6メートルの大笹を用意しました。

2本の笹には、患者さんやスタッフの願い事が書かれた短冊や、可愛い飾りが並びました。



地域医療の 仕組み



バス案内 (国際興業バス)

川口駅東口(8番)発

川口市立医療センター経由 新井宿駅行

西川口駅東口(1番)発

川口市立医療センター経由 新井宿駅行

蕨駅東口(1番)発

川口市立医療センター経由 新井宿駅行

赤羽駅東口(6番)発

新井宿駅経由 川口市立医療センター行

循環バス (川口市コミュニティバス)

みんななかまバス

埼玉高速鉄道をご利用の方は

埼玉高速鉄道 新井宿駅から徒歩10分

駐車場のご案内

駐車料金 4時間まで200円(その後1時間ごとに100円)

総合受付の「5」会計受付にてパーキングカードを販売しております。

(1,000円券・3,000円券)

駐車台数 約600台収容

発行責任者 川口市立医療センター 大塚 正彦

編集 広報委員会

〒333-0833 川口市西新井宿180 ☎048-287-2525(代表)



ホームページ